(2)専門研修

② 特別支援教育に関する研修

※ 問合せ先

特別支援教育班 022－784－3561

特別支援教育に関する研修

専門研修の主な変更点です。

○ **D0101～0106 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉**

→2日目は大学連携となります。

D0101 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉知的障害

D0102 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉自閉症・情緒障害

D0103 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉肢体不自由

D0104 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉病弱・身体虚弱

D0105 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉視覚障害

D0106 特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉聴覚障害

※D0101、D0102、D0104は東北福祉大学

D0103、D0105、D0106は宮城教育大学との連携です。

○ **D0107 特別支援教育研修会Ⅱ②〈応用編〉**

→特別支援学校2会場で研修を実施します。

〈例〉知的障害と聴覚障害

特別支援学校2校の授業参観をそれぞれ半日開催で行います。

知的障害は毎年実施、もう一方は毎年異なる障害種の予定です。

○ **D0502 インクルーシブ教育研修会(学校等単位型研修会)**

→特別支援教育上の課題について、各校の実情に応じた改善策を検討する訪問支援型の研修会です。

★特別支援教育研修会Ⅱ①〈応用編〉は特別支援学校の先生方に、特別支援教育研修会Ⅱ②〈応用編〉は特別支援学級の先生方に、ぜひ受講していただきたい内容に変更しています。

★インクルーシブ教育研修会(学校等単位型研修会)は学校もしくは市町村教育委員会へ訪問する内容となります。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期

指標資質能力										
※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
	意欲・人間性	情熱		人間		研鑽							

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号		
	D0101	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(知的障害)
	D0102	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(自閉症・情緒障害)
	D0103	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(肢体不自由)
	D0104	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(病弱・身体虚弱)
	D0105	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(視覚障害)
	D0106	特別支援教育研修会Ⅱ ①〈応用編〉(聴覚障害)
		～障害特性に応じた支援や授業づくり～

申込必要

［定員 120 名］

D0101・D0102 各30名
D0103～D0106 各15名

目的・ねらい	障害特性に応じた支援や授業づくりについての理解を深めることで、学習指導のスキル向上を目指す。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	**主幹教諭**	**教諭**	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	**講師**	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

	1日目 集合型研修	
5 月 27 日 (水)	講義	特別支援教育における授業づくり～資質・能力の育成を目指した主体的で対話的な深い学び～(仮)
	講義	本県の特別支援教育について(仮)
会場: 総合教育センター	協議	授業づくりについて(仮)
D0101・D0102・D0104	2日目 移動研修	
7 月 28 日 (火)	講義・演習	障害特性に応じた授業づくりとその支援について(仮)
会場:東北福祉大学	講義・演習	自立活動の個別の指導計画の作成(仮)
D0103・D0105・D0106	2日目 移動研修	
9 月 24 日 (木)	講義・演習	障害特性に応じた授業づくりとその支援について(仮)
会場:宮城教育大学	講義・演習	自立活動の個別の指導計画の作成(仮)
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

初任研(1年目)対象者、B1000特別支援教育研修会Ⅰ〈基礎編〉(特別支援学級・通級新担当者)の受講者は該当しません。
本研修会の2日目は、東北福祉大学(D0101:知的障害、D0102自閉症・情緒障害、D0104:病弱・身体虚弱)及び宮城教育大学(D0103:肢体不自由、D0105:視覚障害、D0106:聴覚障害)と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。
※障害種によりコースが異なりますので、申込み時に希望する研修会番号を選択してください。仙台市立は鶴谷特別支援学校のみが対象です。

令和9年度から大学毎の隔年実施となります。(令和9年度 D0103:肢体不自由、D0105:視覚障害、D0106:聴覚障害 実施、令和10 年度 D0101:知的障害、D0102自閉症・情緒障害、D0104:病弱・身体虚弱 実施、…)

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教 **授業** 指導 / **理解** 支え	養教 管理 教育 健・保 / 理解 支え	幼教等 指導 子供 / 支え	管理職等 素養 経営 / 組織 連携 / 育成
		意欲・人間性	**情熱** 人間 **研鑽**		

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0107	特別支援教育研修会Ⅱ②＜応用編＞ ～特別支援学校の授業から学ぶ障害特性に応じた指導～

申込必要

［定員　20　名］

目的・ねらい	特別支援学校の授業参観を通して、障害特性に応じた指導法や実践事例を学び、教員の専門性を高める。また、複数の障害種を参観することを通して、様々な障害種への対応力を向上させる。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	**主幹教諭**	**教諭**	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	**講師**	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

10 月 20 日（火） 北部・東部・気仙沼管内 会場：県内知的特別支援学校	授業参観	特別支援学校の授業参観 授業者：県内特別支援学校教諭等
	協議	授業に関する情報交換会
10 月 21 日（水） 仙台・大河原管内、仙台市内 会場：県内知的特別支援学校		（午前のみの研修）
11 月 16 日（月） 会場： 聴覚支援学校	授業参観	特別支援学校の授業参観 授業者：県内特別支援学校教諭等
	協議	授業に関する情報交換会
		（午前のみの研修）
事前・事後の eラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

本研修は、特別支援学級担任の先生にお勧めです。
授業を直接参観することで、その障害種の実態に応じた指導（学習環境の整え方、学習の展開、発問、教材教具の使い方、意欲を引き出す工夫）を学ぶことができます。また、参観を受講者自身の授業改善につなげるために、情報交換を設定しています。
下記の例の通り、2日間のうち1日を知的の特別支援学校、もう1日を知的以外の特別支援学校で行います。複数の障害種を参観することで知見を広げ、様々な障害種への対応力を向上させる機会となります。
（例1）知的と聴覚障害　（例2）知的と視覚障害　（例3）知的と肢体不自由

障害種・日時・会場については、Plantまたはホームページから研修会情報を確認してください。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期

指標資質能力 ※研修計画p.1を参照											
教諭 栄教	授業	指導	養教	管理	教育	健・保	幼教等	指導	子供	管理職等	素養	経営
	理解	支え		理解	支え			支え			組織	連携
意欲・人間性	情熱			人間		研鑽					育成	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0300	重度・重複障害教育研修会 ～障害の重い子供たちへのより適切な支援を目指して～

申込必要

［定員　30　名］

目的・ねらい	重度・重複障害教育における幼児児童生徒の実態把握、学習指導の内容及び方法、医療的ケア児への対応等について理解を深めるとともに、実践上の諸課題の解決を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 19 日（ 金 ） 会場: 総合教育センター リハビリテーション支援センター	講義	宮城県における医療的ケアの現状 講師:県保健福祉部職員
	講義・演習	リハビリテーション支援センターによる取組 講師:リハビリテーション支援センター職員
	講義	重度・重複障害児童生徒のコミュニケーション支援 講師:宮城教育大学　准教授　寺本　淳志　氏
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

仙台市立の学校は、鶴谷特別支援学校のみ対象です。

午前は保健福祉部の職員から、県内の医療的ケアの内容や医療的ケア児の実態、県の支援施策やその状況等について学びます。その後、当センターに隣接している「リハビリテーション支援センター」に移動し、様々な自助具や支援機器の活用法を学びます。実際に自助具や支援機器に触れたり、使ってみたりしながら、児童生徒がより学びやすい支援の在り方を考えます。

午後は、総合教育センターにて重度・重複障害のある児童生徒のコミュニケーション支援に関する研究を行っている先生を講師としてお招きし、障害の重い子供とのコミュニケーションの在り方についての理解を深めます。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 **指導** **理解** 支え	養教	管理 教育 **健・保** **理解** 支え
		幼教等	指導 **子供** 支え	管理職等	素養 経営 組織 **連携** **育成**
		意欲・人間性	**情熱** 人間 **研鑽**		

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0501	インクルーシブ教育研修会（医療と教育） ～特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への医療面と教育面からの支援の在り方～	申込必要

［定員 100 名］

目的・ねらい	特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する医療面と教育面からの支援の在り方への理解を深めることで、共生社会の担い手を育成するための指導力向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小（義・併）	中学校	中（義・併）	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講（農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ）							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務（事務等）	事務（指主等）	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8 月 3 日（ 月 ） 会場： 総合教育センター	講義・演習	愛着形成に課題のある子供への理解と対応 講師：臨床心理士・公認心理師　西澤 由佳子 氏
	講義	アセスメントから考える支援 講師：仙台市 北部/南部発達相談支援センター主幹 小児科医 奈良 千恵子 氏
8 月 4 日（ 火 ） ～ 8 月 31 日（ 月 ） オンライン研修	講義	インクルーシブ教育システムの構築に向けて 講師：総合教育センター 特別支援教育班 指導主事
	講義	合理的配慮について 講師：総合教育センター 特別支援教育班 指導主事
	講義	発達障害児の支援の見立てと連携 講師：愛知県西三河福祉相談センター 児童専門監 吉川 徹 氏
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

本研修会は、通常の学級の先生方にもお勧めの研修会です。
1日目の集合研修では、愛着形成に課題のある子供への理解と対応や、アセスメントから考える支援について学びます。
2日目は、オンデマンド研修です。発達障害児の支援の見立てと連携について、インクルーシブ教育システムの構築についてや合理的配慮についての講義を通して支援の在り方を学びます。
2日間の研修を通して、医療面と教育面からの支援方法について理解を深めます。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 指導 理解 支え	養教	管理 教育 健・保 理解 支え
		幼教等	指導 子供 支え	管理職等	素養 経営 組織 連携 育成
		意欲・人間性	情熱 人間 研鑽		

希望研修（訪問型）

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0502	インクルーシブ教育研修会（学校等単位型研修会） ～学校全体で進める特別支援教育の充実～

別途申込

［定員　5　校］

目的・ねらい	ユニバーサルデザインや通級による指導、交流及び共同学習などに対する理解を深め、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶ教育活動を実践する力を育成する。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小（義・併）	中学校	中（義・併）	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講（農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ）							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務（事務等）	事務（指主等）	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月 ～10 月 会場： 各訪問校等		
	実践発表	（例）高校における通級による指導の実際について 講師：県内の高等学校教員
	協議	（例）発表事例を自校で活かす方策の検討 講師：総合教育センター　指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

授業や校務における特別支援教育上の課題について、県内の実践事例を参考にしながら、各校の実情に応じた改善策を検討する訪問支援型の研修会です。

【 対　　象 】　学校単位　4校程度
　　教育委員会単位　1委員会

【 実施時期 】　令和8年7月～10月（長期休業期間も可能）
　　研修会の実施日時は、申込みいただいた学校や教育委員会と調整の上決定します。

【 研修内容 】　下記のテーマから、学校や教育委員会の実情に合わせて、相談の上決定します。
　　①共に学ぶ教育について（UD等の視点を取り入れた授業づくり）　②交流及び共同学習について　③通級による指導の実際について
　　④校内支援の充実について（話合いサポートツールの活用）
　　研修時間は、1時間30分から2時間程度の範囲で行います。
　　学校単位（学校区単位含む）、市町村教育委員会単位等、形態は申込み者との調整の上決定します。

【 申込方法 】　各市町村教育委員会及び各県立学校に別途通知します。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）											
指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期							
指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 **指導** **理解** 支え	養教	管理 教育 **健・保** **理解** 支え	幼教等	指導 **子供** 支え	管理職等	素養 経営 組織 **連携** 育成			
	意欲・人間性	**情熱** 人間 **研鑽**									

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0503	インクルーシブ教育研修会（切れ目ない支援） ～早期から就労までを見据えた支援の在り方～	申込必要

［定員　80　名］

目的・ねらい	共生社会の担い手を育成する指導力の向上を目指し、特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒について、就学から就労までの長期的視野で指導・支援方法を学ぶ。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小（義・併）	中学校	中（義・併）	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講（農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ）							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務（事務等）	事務（指主等）	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7　月　10　日（　金　） 会場： 総合教育センター	講義	当事者から学ぶ発達障害の理解と支援 講師：宮城学院女子大学　教授　梅田　真理　氏、発達障害者（当事者）とその支援者
	講義・演習	発達障害のある生徒の就労の実現に向けて 講師：ハローワーク仙台　専門援助第二部門担当者、宮城障害者職業センター　職業カウンセラー
7　月　27　日（　月　） ～ 8　月　31　日（　月　） オンライン研修	講義	特別な配慮や支援を必要とする子供たちの就学支援の進め方について 講師：教育庁特別支援教育課　教育指導班　指導主事
	講義	発達段階に応じた切れ目のない支援と保護者への心理的支援の在り方 講師：福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター　教授　横山　浩之　氏
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

本研修会は、通常の学級の先生方にもお勧めの研修会です。

1日目は、発達障害のある方のお話から、発達障害の特性を理解し、学校現場における支援の在り方について学びます。また、障害者の就労支援に携わる方からの講義を通して、障害のある生徒が就労する場合の現状について理解し、早期から取り組む実際的な指導・支援を考えます。

2日目は、オンデマンド研修です。法令等からみた障害のある幼児児童の就学支援に関する基本的事項や、保護者への心理的支援について理解を深め、入学してくる配慮が必要な子供、在籍している配慮が必要な子供への支援を充実させます。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）												
指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期								
指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業	指導	養教	管理	教育	健・保	幼教等	指導	子供	管理職等	素養	経営
		理解	支え		理解	支え			支え			組織	連携
	意欲・人間性	情熱		人間		研鑽						育成	

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0903	通級指導経験者研修会（言語） ～通級指導経験者の一層の指導力向上のために～	申込必要

［定員　15　名］

目的・ねらい	通級による指導に必要な児童生徒の的確なアセスメントについて理解を深め、一人一人の困難さに応じた指導について、更なる専門性の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小（義・併）	中学校	中（義・併）	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講（農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ）							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務（事務等）	事務（指主等）	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 24 日（ 金 ） 会場： 総合教育センター	講義・演習	構音指導の基礎～発音要領について～ 講師：県内小学校教員
	講義・演習	言語通級における発音指導の実際 講師：県内小学校教員
	情報交換	それぞれの指導実践について
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

※今年度初めて通級指導担当になった方は対象外となりますので、「B1000 特別支援教育研修会Ⅰ〈基礎編〉（特別支援学級・通級新担当者）」を受講してください。
　現在、通級による指導（言語）を担当して2年目以降の方、または過去に担当していた方が対象です。
　午前は、「構音指導の基礎」をテーマに講義・演習していただき、発音の仕組みについての理論を学びます。
　午後は、「言語通級指導教室の発音指導の実際」をテーマに、児童一人一人の実態や特性に応じた指導や支援の方法について講義・演習していただき、学びを深めます。
　また、受講者同士でどのような実践を行っているかの情報交換を行い、知見を広めます。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）												
指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期								
指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	授業 理解	指導 支え	養教	管理 理解	教育 支え	健・保	幼教等	指導 支え	子供	管理職等	素養 組織 育成	経営 連携
	意欲・人間性	情熱		人間		研鑽						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D0904	通級指導経験者研修会（LD等） ～通級指導経験者の一層の指導力向上のために～	申込必要

［定員　30　名］

目的・ねらい	通級による指導に必要な児童生徒の的確なアセスメントについての理解を深め、一人一人の困難さや認知特性に応じた指導について、更なる専門性の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小（義・併）	中学校	中（義・併）	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講（農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ）							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務（事務等）	事務（指主等）	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

9 月 11 日（ 金 ） 会場： 尚絅学院大学	講義	LD等に対するアセスメントと学習支援～読みの困難、読解困難の理解とその支援～（仮） 講師：尚絅学院大学　講師　成田　まい　氏
	演習	アセスメントを基にした学習支援（仮） 講師：尚絅学院大学　講師　成田　まい　氏
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

本研修会は、尚絅学院大学と連携し、教員を目指す学生と共に学ぶ研修会です。午前は、LD等に対する児童生徒の支援について研究している大学の先生から、通級による指導で活用するアセスメントとそれに基づいた支援について講義をいただきます。午後の演習では、事例を基に児童生徒一人一人の認知特性に応じた指導とその手立てについて検討します。現在、通級による指導（LD等、言語問わず）を担当している方、または過去に担当していた方、通級による指導について巡回指導等を行っている方が対象です。
※今年度初めて通級指導担当になった方は対象外となりますので、「B1000 特別支援教育研修会Ⅰ〈基礎編〉（特別支援学級・通級新担当者）」を受講してください。
※受講定員が上限に達した場合は、現在、通級指導による指導（LD等）を担当している方が優先となります。

専門研修

みやぎの教員に求められる資質能力（指標）	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
	指標資質能力 ※研修計画p.1を参照	教諭 栄教	**授業** 指導 理解 支え	養教	管理 **教育** 健・保 理解 支え	幼教等	指導 子供 支え	管理職等	素養 経営 組織 連携 育成
		意欲・人間性	**情熱** 人間 **研鑽**						

希望研修

選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外

研修会番号	D1100	特別支援教育におけるICT活用研修会 ～ICT活用初心者のスキルアップを目指して～	申込必要

［定員　50　名］

目的・ねらい	特別支援教育における教育の情報化について理解を深め、障害のある児童生徒を支援するための具体的なICT活用の在り方を実践発表・演習等を通して学び、指導力向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校	学校以外	
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

11 月　2　日（　月　） 会場: 総合教育センター	実践発表	各校種におけるICT活用の実際 県内公立学校教員
	講義	特別支援教育においてICTを活用するために 講師:総合教育センター指導主事
	協議	各校での実践について情報交換
	講義・演習	特別支援教育におけるICTの活用　ー必要な支援にどうICTを生かすかー 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング	特になし	

【PR・連絡等】

ICT活用初心者向けの研修会です。日進月歩のICT事情について、特別支援教育の視点から理解を深めます。午前は実践発表を通して学校現場での実践や活用方法を、講義を通して特別支援教育におけるICT活用の視点などを学びます。午後は実際にタブレットPCに触れながら講義・演習を行い、児童生徒の学びやすさや生活しやすさにつながるツールとしてのICT活用について学びます。